

水性高級アクリル結合材配合 | 漆喰用下地調整材 | 外装用 |

外壁仕上材の下地にはソトカベースが1番!!

# ソトカベース

コテ押さえしやすく塗りやすい!!

吸水調整機能で上塗りしやすい!!

硬化が早く作業性UP!!

セメント使用で外部で使用可能!!

高い付着力で長期に渡って安定!!

旧:田川産業漆喰ベース

環境にやさしい  
F★★★★

日本建築仕上材工業会登録

■登録番号:1610006

■放散等級区分:F☆☆☆☆

■問合せ先:<http://www.nsk-web.org/>



|        |                        |
|--------|------------------------|
| 主成分    | アクリル結合材、セメント(アルカリタイプ)  |
| 用途     | 内外装下地調整材               |
| 標準施工面積 | 4㎡/セット(塗厚1mm)          |
| 正味質量   | 5kg(主材4kg、結合材1kg)×4セット |

## 用途

- 漆喰等、アルカリ系上塗り下塗材
- 塗り替え用下塗材
- 各種下地の小不陸調整

## 推奨仕上材

- 漆喰(城かベシリーズ)
- 珪藻土、砂壁、聚楽壁
- 塗料

## 対応下地

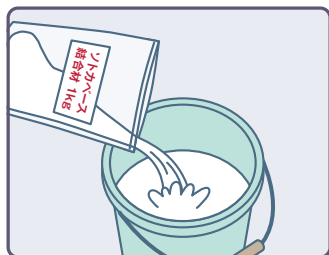
- 新設下地  
モルタル・コンクリート
- 改装下地  
漆喰、珪藻土、砂壁、聚楽壁 etc.

※古壁の状態を事前に現場確認し、施工可能か判断することが重要です。  
改修不可能と判断した場合は、下地から作り直すことをご検討ください。



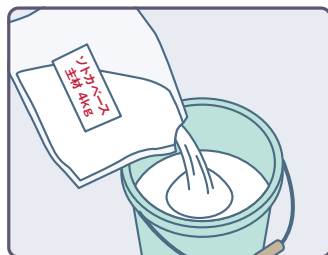
## 混練

### 1 結合材を投入



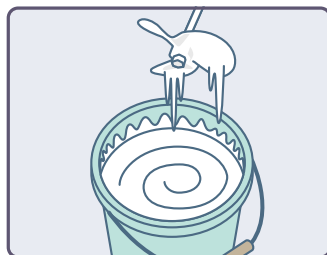
結合材1kg(液体)を入れます。

### 2 主材を投入



主材4kg(粉体)を入れます。

### 3 十分に混練



ハンドミキサーでよく混ぜ合わせます。

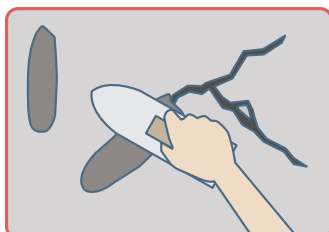
### 4 粘度を調整



加水は800ml以内  
混練し適当な硬さに水道水で調整します。  
※混練後、60分以内にご使用ください。

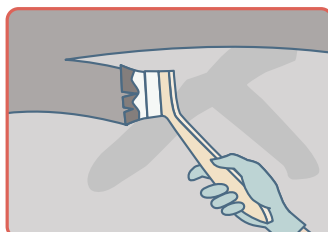
## モルタル・コンクリート下地への施工

### 1 下地の確認



下地にヒビ、割れ等、欠損部分がある場合は、補修をしてください。

### 2 吸水の確認



吸水の激しい場合は城カベシーラ3倍液を塗布してください。

### 3 ソトカベース全面塗り



薄く平滑に全面に塗り付けます。

### 4 各種仕上げ材塗布



乾燥後、漆喰上塗りを行います。

## 古い漆喰壁の塗り替え施工

### 1 状態の確認



古壁の場合、下地に剥離がないか状態を確認してください。

### 2 清掃



チリ・ホコリ・カビ・コケ・サビ等の付着物は事前に清掃し、取り除いてください。

### 3 ソトカベース全面塗り



薄く平滑に全面に塗り付けます。

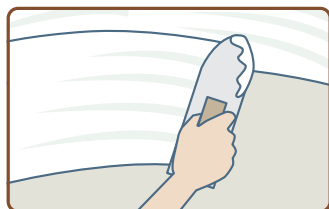
### 4 各種仕上げ材塗布



ソトカベースが完全に乾燥した後に、各種の上塗り材で仕上げ作業を行います。

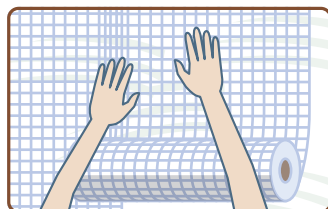
## ガラスネット伏せ込み工法

### 1 ソトカベース下塗り



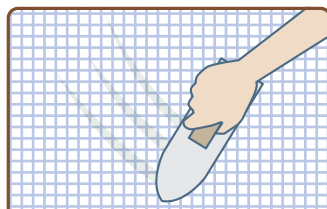
下地の状態を確認後、ソトカベースを下塗りします。骨材として5号珪砂を1セットにつき2kgまで添加可能です。

### 2 ガラスネットを伏せ込む



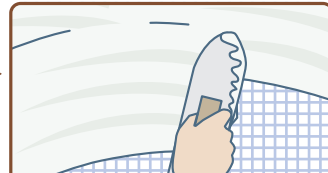
ネットの継ぎ目は縦横とも50ミリ以上重ねてください。※必ずガラスネットは耐アルカリ性の物を使用してください。

### 3 綺麗になじませる



ネットの浮きがなくなるように、コテでなじませます。

### 4 ソトカベース上塗り 各種仕上げ材塗布



ソトカベースの上塗りです。ネットを伏せ込み、乾燥後に漆喰上塗りを行います。

## ご注意

- 適応下地以外には使用しないでください。
- 均一な厚みで塗りつけてください。極端な厚塗りはピンホール・網状クラックの原因となります。
- 不陸のある古壁の場合、あらかじめ水を少なめにシゴキ塗り、水引き後塗り重ねてください。
- 本品塗り付け後は、完全に乾燥しているのを確認してから上塗りしてください。施工を急ぎますとピンホール、膨れ・アク・シミの原因となります。

## 販売店・施工者様へのご注意及び、おことわり

- 目に入った場合は、水で最低15分間洗眼し、直ちに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗い、直ちに医師の診断を受けてください。
- 肌に付着した場合は、水と石鹸でよく洗い流してください。
- 残材は、下水・河川・池・井戸・地下水等を汚染する恐れのある場所には、廃棄しないでください。
- 他の製品・ボンド等と混合しないでください。